ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（　上記以外　）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00〜20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝エアロサイクロンクリーナー保証書

持込修理

形名		VC-Y33D	
★お客様	お名前	ふりがな　　　　様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名　電話		

東芝コンシューママーケティング株式会社　家電事業部 クリーンソリューション部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-5864

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

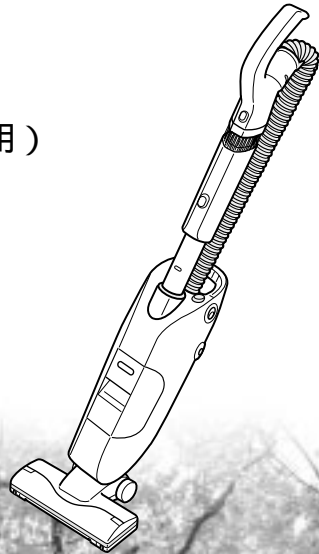
1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   （ト）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
2. 出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝エアロサイクロンクリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-Y33D

もくじ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の16ページについておりますので記入をお受けください。

- このたびは東芝エアロサイクロンクリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること」を示します。

＊1:重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	説明
禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない
また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部はのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。

禁止

ダストカップを取り付けずに運転をしない
通風口に棒などを入れない
故障の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電・発熱による火災の原因になります。

接触禁止

床ブラシの回転部、自動停止装置など底面や本体の排気口付近には触れない
手などをけがしたり、やけどをすることがあります。
特に小さなお子さまにご注意ください。

⚠注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁止

床ブラシをはずして使用しない
排気風がゴミを吹きとばすことがあります。

禁止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

まっすぐ引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁止

排気口はふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁止

伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

お願い

このクリーナーは家庭用です

●業務用には使用しない。
●掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない

■**水などの液体や湿ったゴミ。**
■ガラスやお皿の破片、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
■食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。
●**吸込力の低下やモーター故障、ダストカップの傷つきの原因になります。**

ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたりしない また、ホースを持って本体を吊り下げない

●本体が落下してけがをしたり、床を傷つけることがあります。
●ホースが変形することがあります。

ホースを引っ張った状態で保管しない

●ホースが伸びて、元にもどらなくなる場合があります。

床ブラシと本体の間に手を入れない

●手などをけがすることがあります。
●特に小さなお子さまにはご注意ください。

ハンドルを持って運ばない

●本体と伸縮延長管の取り付けが悪いと本体が落下して、けがをしたり、床を傷つけることがあります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す

●電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシや伸縮延長管・ホースを床に強く押しつけたり、壁、家具などに強くあてない

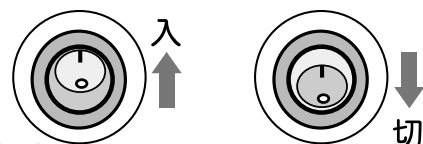
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**（たたみは目にそってお使いください。）
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。
●床ブラシに無理な力が加わると、故障の原因となります。
●床用ワックス、つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面に傷がつくことがあります。

各部のなまえとはたらき

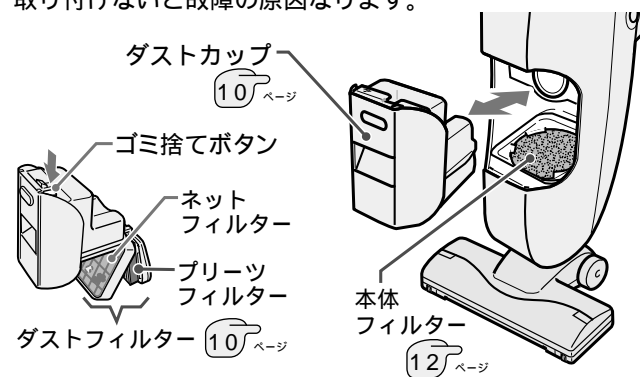
⚠警告

床ブラシの回転部、自動停止装置など底面や本体の排気口付近には触れない
手などをけがしたり、やけどをすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

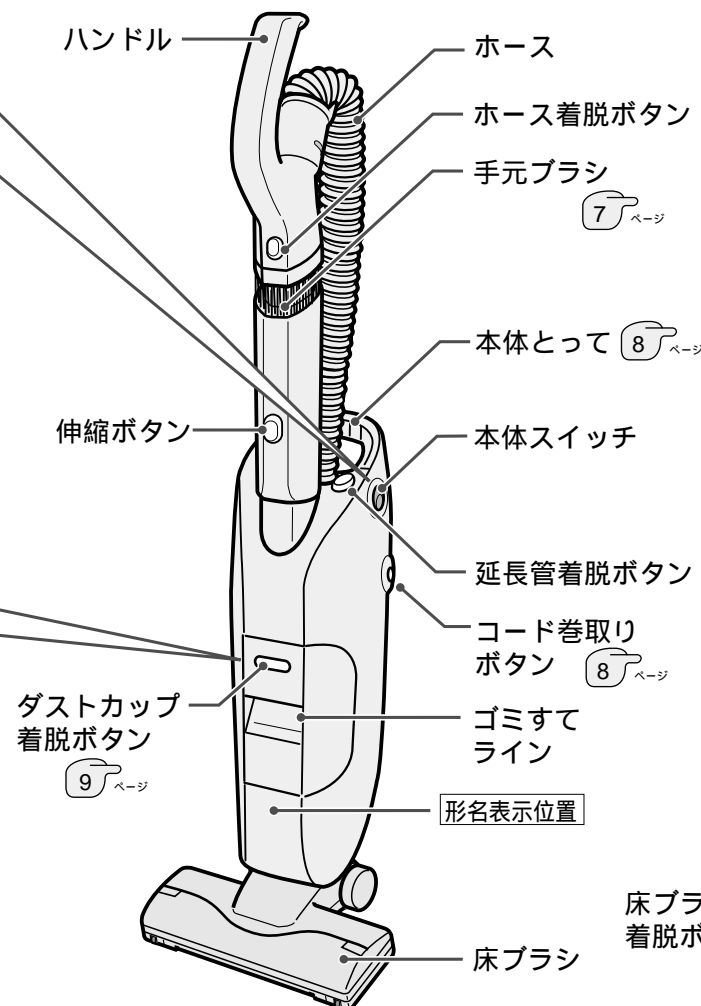
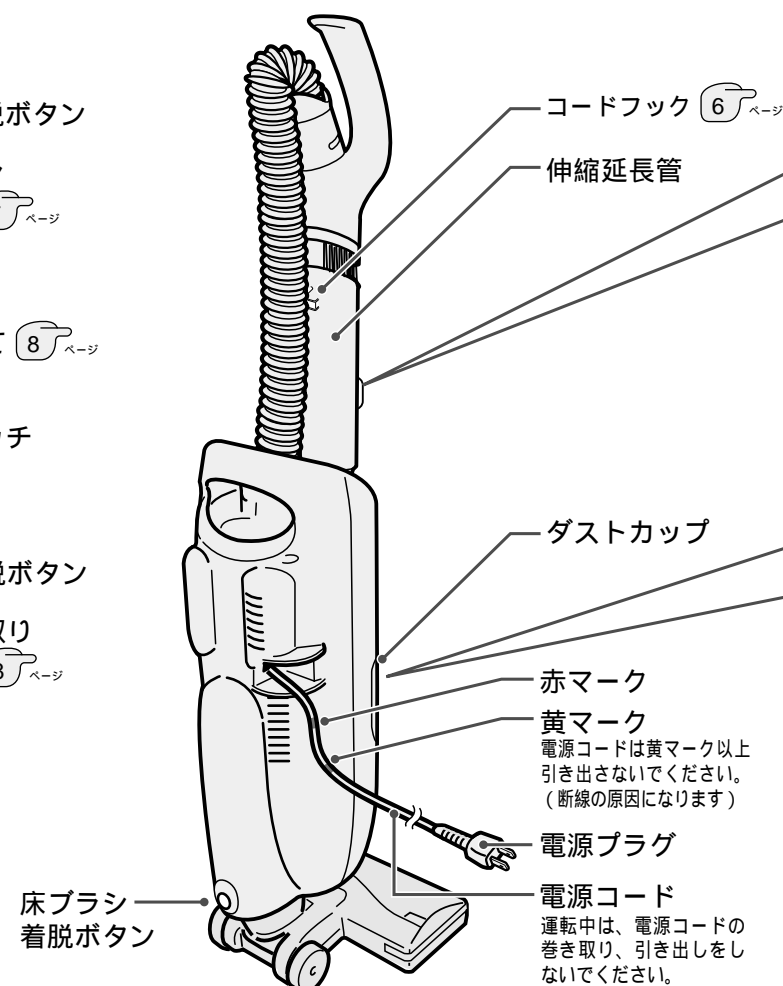
本体スイッチ
スイッチを「入」の位置にするとモーターが回転し、「切」の位置にすると止まります。

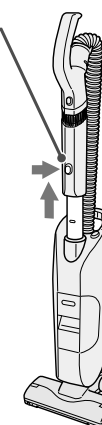
入　切

お願い
電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ずスイッチを「切」の位置にしてください。
●スイッチを「入」の位置にするときは、ハンドルまたは本体とってを必ず持ってください。モーターが回転する反動で本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

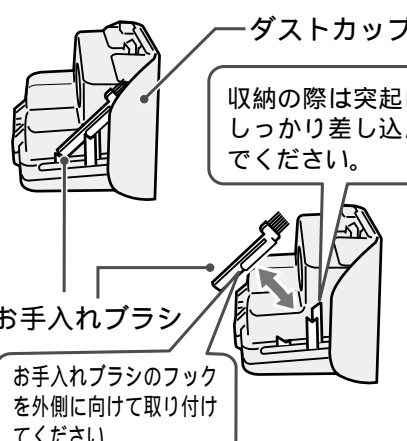
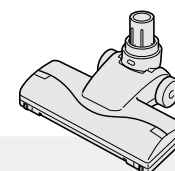
ダストカップと各フィルター
必ず取り付けてください。
取り付けないと故障の原因なります。

ダストカップ 10ページ
ゴミ捨てボタン
ネットフィルター
プリーツフィルター
ダストフィルター 10ページ
本体フィルター 12ページ

ダストカップにティッシュペーパーを取り付けられます。8ページ

本体前
ハンドル
ホース
ホース着脱ボタン
手元ブラシ 7ページ
本体とって 8ページ
伸縮ボタン
本体スイッチ
延長管着脱ボタン
コード巻取りボタン 8ページ
ダストカップ着脱ボタン 9ページ
ゴミすてライン
形名表示位置
床ブラシ

本体後
コードフック 6ページ
伸縮延長管
ダストカップ
赤マーク
黄マーク
電源コードは黄マーク以上引き出さないでください。（断線の原因になります）
電源プラグ
電源コード
運転中は、電源コードの巻き取り、引き出しをしないでください。
床ブラシ着脱ボタン

伸縮ボタン
伸縮ボタンを押しながら、延長管の長さを調節してください。長さは2段階です。

お願い
運転中に吸込口をふさいで伸縮ボタンを押さないでください。
●急に縮んでけがをすることがあります。

お手入れブラシ
フィルターのお手入れに使用してください。

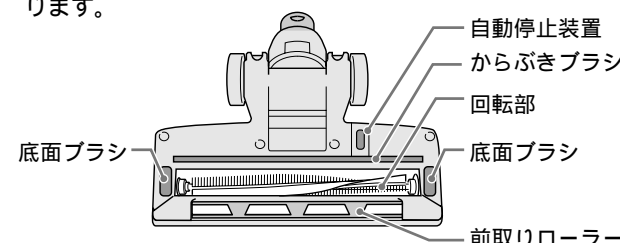
ダストカップ
収納の際は突起にしっかり差し込んでください。
お手入れブラシ
お手入れブラシのフックを外側に向けて取り付けてください。

標準付属品
床ブラシ（1個）
（パワーヘッド〈前取り機能付き〉）

伸縮延長管（1本）
すき間ノズル付き

手元ブラシ（1個）

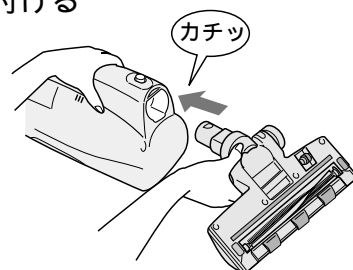
応用付属品
お手入れブラシ（1本）

床ブラシ（パワーヘッド〈前取り機能付き〉）

回転部について
この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと回転部が止まります。

●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットやじゅうたんの種類（毛足が長い、植毛密度が高い）によっては、回転部の回転が止まることがあります。

組み立てかた

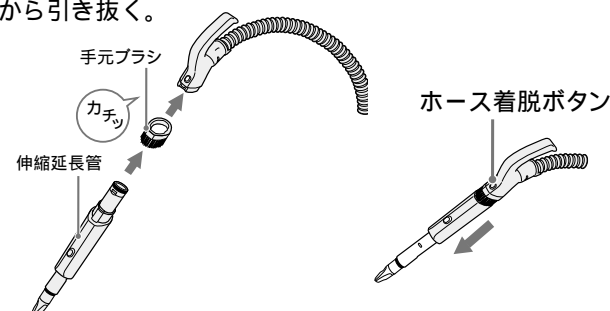
床ブラシのセット

床ブラシを本体に取り付ける
本体をねかせ、床ブラシを本体に取り付ける。
●床ブラシは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

床ブラシをはずすとき
本体をねかせ、本体の床ブラシ着脱ボタンを押しながら、床ブラシを引き抜く。

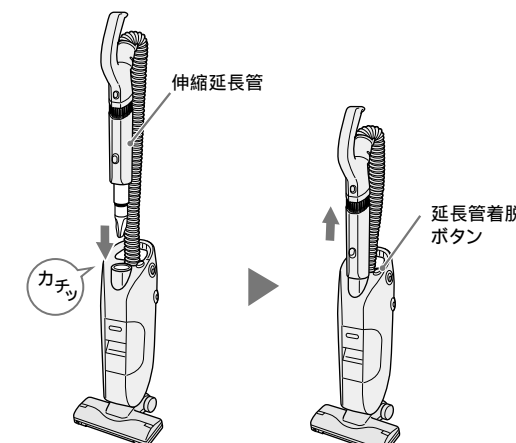
ホース・手元ブラシのセット

ハンドル先端に手元ブラシを取り付ける
手元ブラシを「カチッ」と音がするまで、ハンドル先端に差し込む。

ホースを伸縮延長管に取り付ける
ホース着脱ボタンが「カチッ」と音がするまでハンドル部分を伸縮延長管に差し込む。

ホースをはずすとき
ホース着脱ボタンを押しながら、ハンドル部分を伸縮延長管から引き抜く。

伸縮延長管のセット

伸縮延長管を取り付ける
伸縮延長管を本体のくぼみにそって、延長管着脱ボタンが［カチッ］と音がするまで確実に取り付ける。

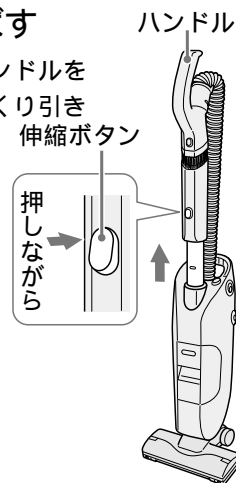
伸縮延長管をはずすとき
延長管着脱ボタンを押しながら、本体から伸縮延長管を引き抜く。

お掃除のしかた

床ブラシを使用したお掃除では、ホースを伸縮延長管に取り付けてご使用ください。

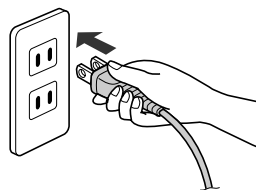
1 伸縮延長管を引きのばす

伸縮ボタンを押しながら、ハンドルを「カチッ」と音がするまでゆっくり引き上げる。

お願い

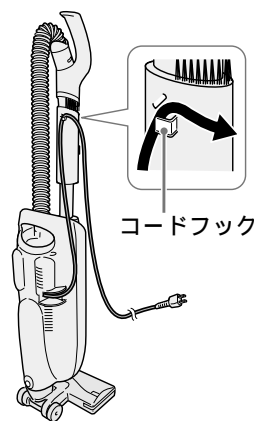
●伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。故障の原因になります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

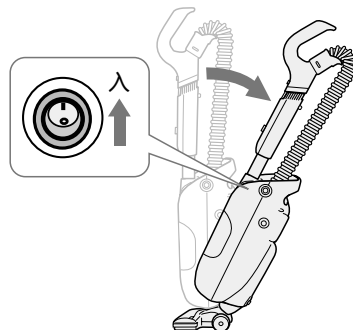
電源コードを引き出し、スイッチが「切」の位置になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込む。

●電源プラグは根元まで確実に差し込みます。

3 電源コードをコードフックに引っ掛ける

電源コードをたるませ、コードフックにはめ込む。

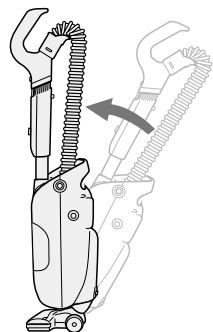
お願い

●伸縮延長管を伸ばした状態で電源コードをコードフックに引っ掛けてください。
●伸縮延長管を本体からはずすときは、先に電源コードをコードフックから取りはずしてください。

4 床ブラシを押さえながら本体を手前に倒し、スイッチを「入」の位置にしてお掃除する

●本体を立てた状態では、本体と床ブラシがロックされます。ご使用の際は、床ブラシを押さえながら本体を手前に倒し、ロックをはずしてください。

本体と床ブラシのロックのしかた

●本体に床ブラシを取り付けた状態で、床ブラシの中央に本体の中央がくるように本体を立てていくと、本体と床ブラシがロックされます。

ポイント

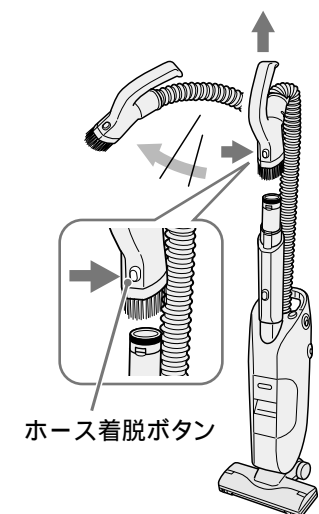
●ハンドルを左右にねじると、床ブラシの向きをそれぞれの方向に変えることができます。

お願い

●床面によっては倒れやすい場合がありますので、そのような床面で本体から離れるときは、必ず本体をねかせてください。
●床面を傷つけることがありますので、お掃除される際は、本体と床ブラシのロックをはずしてください。
●**綿ぼこりが多い場合、ネットフィルターに綿ぼこりが付着して吸込力が低下することがあります。**そのときは、ゴミの捨てかたにしたがって、ほこりをネットフィルターから取りのぞいてください。9ページ

上手なお掃除のしかた

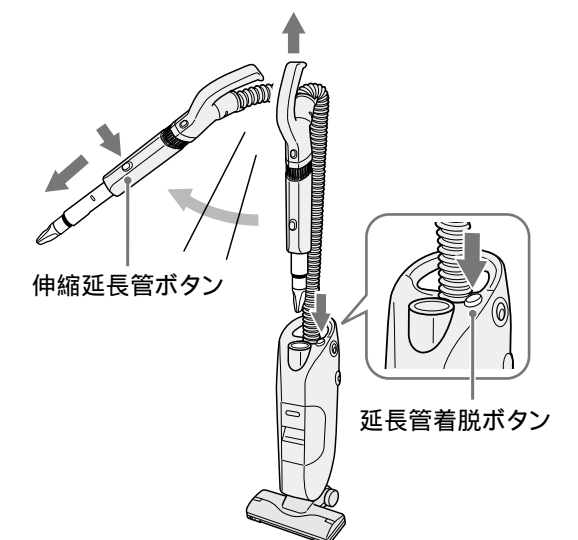
●**大きなゴミや包装用フィルムなどはあらかじめ取りのぞいてからお使いください。**
・床ブラシやホース・伸縮延長管などのゴミづまり防止になります。
●**床ブラシやホース・伸縮延長管は軽くすべらせるようにお使いください。**
●**床やたたみなどをお掃除するときは、目にそってお使いください。**
・楽に動かせ、傷つき防止になります。
●**新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。**

手元ブラシを使ったお掃除のしかた

①運転を止め、本体と床ブラシをロックする。
②ホース着脱ボタンを押しながらハンドル部分を引き抜く。
③本体を運転する。

お願い

●本体とってを持ってお掃除してください。本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
●本体と床ブラシは必ずロックしてください。ロックしていないと、吸い込むことが出来ません。

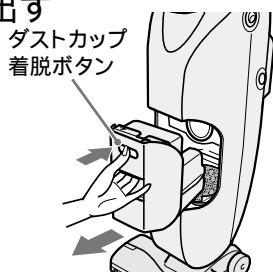
すき間ノズルを使ったお掃除のしかた

①運転を止め、本体と床ブラシをロックする。
②延長管着脱ボタンを押しながら延長管を本体から引き抜く。
③本体を運転する。

お願い

●本体とってを持ってお掃除してください。本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
●本体と床ブラシは必ずロックしてください。ロックしていないと、吸い込むことが出来ません。

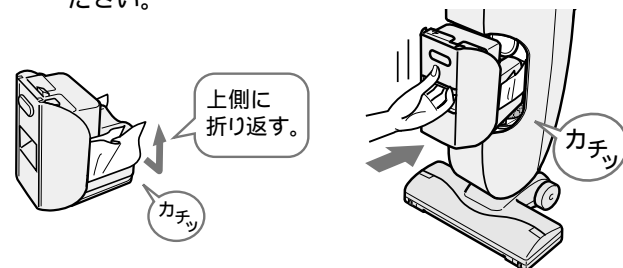
ティッシュペーパーの取り付けかた

1 ダストカップを取り出す

ダストカップ
着脱ボタン

2 ゴミ捨てボタンを押し、底面を開き、ネットフィルターの上にティッシュペーパーをのせる

●ティッシュペーパーはネットフィルターに合わせてたたんでください。

3 底面を「カチッ」と音がするまで閉め、本体にセットする

●はみ出したティッシュペーパーは上側に折り返してください。

お知らせ

●**ティッシュペーパーを取り付けると、ダストフィルターへの繊維ゴミや塵の付着が減りダストフィルターのお手入れを軽減できます。**

お願い

●ティッシュペーパーを取り付けると、通常より早く吸引力が低下します。ティッシュペーパーはこまめに新しいものと交換してください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。故障の原因になります。

お掃除終了後は

⚠注意

禁止

伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

保管のしかた

1 お掃除終了後は、電源プラグをコンセントから抜く

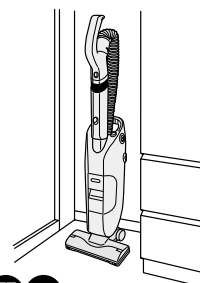
2 電源プラグを持ち、コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る

●巻き取れない場合は、電源コードを1〜2m引き出してふたたび巻き取ってください。

3 床ブラシの中央に本体の中央がくるように本体を立て、本体と床ブラシをロックする

●正しくロックされていないと転倒の恐れがあります。

4 伸縮延長管を縮めた状態にしてお部屋の隅などに保管する 5ページ

お願い ●伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。故障の原因になります。

つぎの場所では保管しない

●**毛足の長いじゅうたん**
●**凹凸のある床面**
●**傾いた床面**
●**階段の上など本体が倒れる恐れのあるところ**

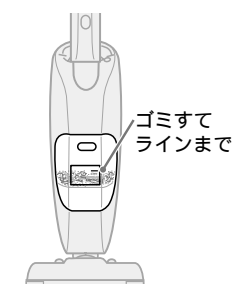
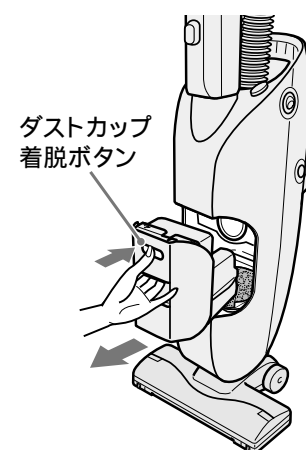
移動するとき

●**移動の際は本体とってを持ってください。ハンドル・ホースを持っての移動は、本体と伸縮延長管の取り付けが悪いと本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。**

お願い

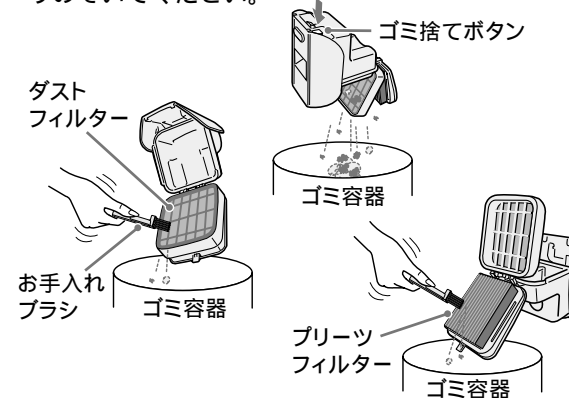
●暖房器具の近くに保管されますと、本体が変形する恐れがありますので、そのような場所には保管しないでください。
●直射日光のあたる場所に保管されますと、本体が変色する場合がありますので、そのような場所には保管しないでください。

ゴミの捨てかた

●**お掃除が終わったらこまめに「ちり落し」を行い、ゴミを捨てましょう。**
●**「ゴミすてライン」を超える前にゴミを捨ててください。「ゴミすてライン」を超えると吸込力が低下します。**
●ゴミの種類によっては、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、「ちり落し」を行い、ダストカップ内のゴミを捨て、ダストフィルターのお手入れをしてください。 10 11ページ
※ゴミを捨てる前にはスイッチを「切」の位置にし、電源プラグを抜いてください。

1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら、ダストカップを取り出す

2 フィルターのちり落しをする

●お手入れブラシをプリーツフィルターの突起にあわせて、5回程度往復させてください。

3 ダストカップを大きめのゴミ袋やゴミ容器の中に入れ、ゴミ捨てボタンを押す

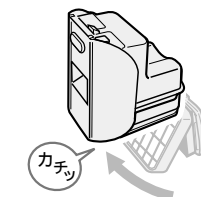
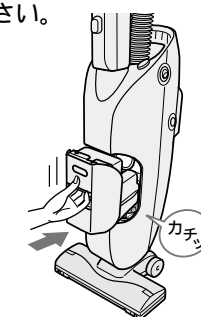
●ゴミを捨てる前にダストカップ側面をたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
●ゴミ捨てボタンを押すとダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
●ダストフィルターについたゴミはお手入れブラシで取りのぞいてください。

4 ダストカップの底面を「カチッ」と音がするまで閉める

●ダストカップの底面が開いた状態でゴミ捨てボタンを押しても底面は戻りません。

5 本体にダストカップをセットする

●手で本体を支えながら、ダストカップを「カチッ」と音がするまで押してください。

お願い

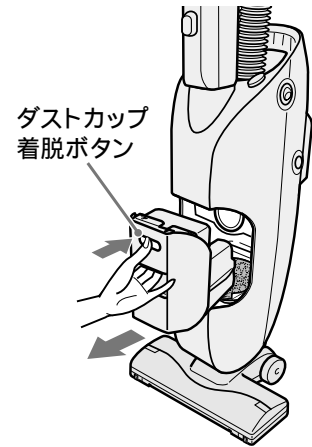
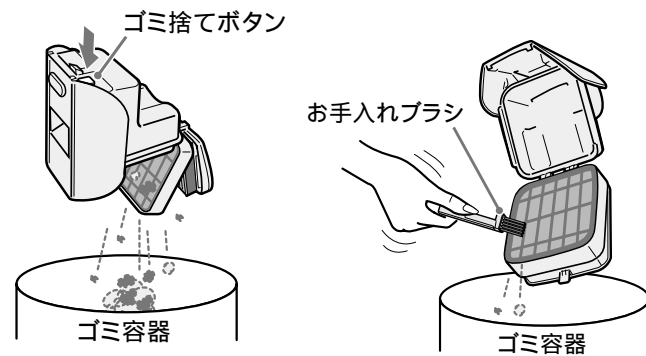
●ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミ捨てボタンを押してください。
●ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
●ゴミを捨てても吸込力が弱い場合はお手入れをおこなってください。 10 11 12ページ

お手入れ

●ゴミを捨てても吸込力が弱いときは、こまめにお手入れをしてください。
●床ブラシの回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。
お掃除の最後に、週に１～２度お手入れしましょう。
※お手入れ前にはスイッチを「切」の位置にし、電源プラグを抜いてください。

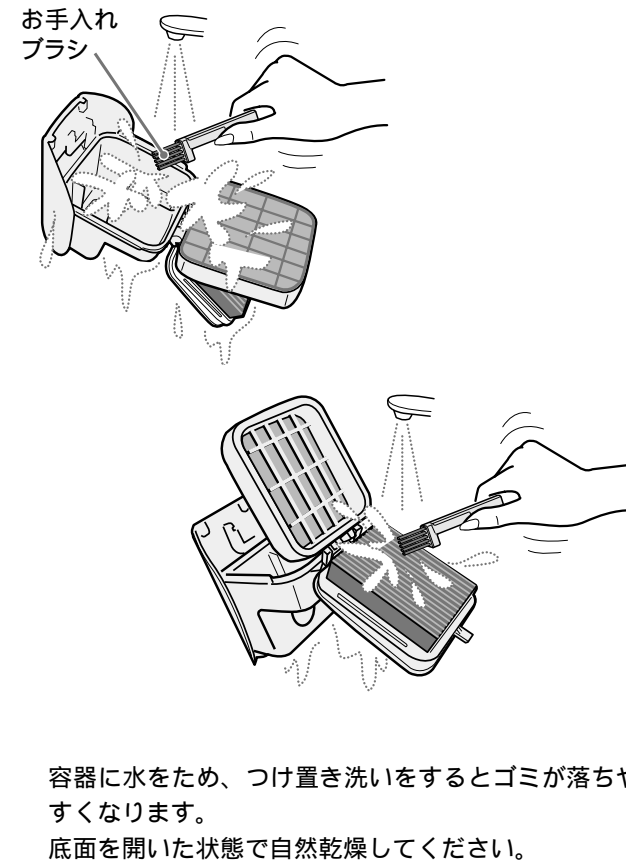
⚠警告

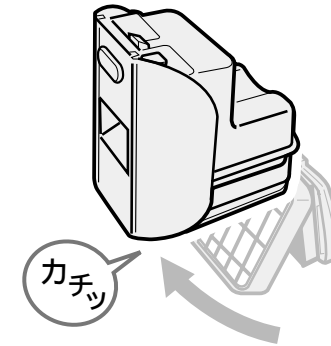
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部はのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

ダストカップ・ダストフィルター

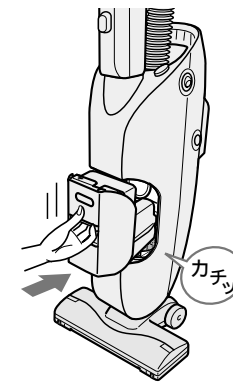
1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら、ダストカップを取り出す

2 ダストカップの中のゴミを捨て、ダストフィルターについたゴミをお手入れブラシで取りのぞく

3 ダストカップ・ダストフィルターを水で洗い、自然乾燥させる

●プリーツフィルターは、広げながらお手入れブラシで洗い、奥につまったゴミまで十分に洗い流す。
●ダストカップはゴミ捨てボタンを押してダストカップの底面を開き中まできれいに洗う。

●容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。
●底面を開いた状態で自然乾燥してください。

4 十分な乾燥を確認して、ダストフィルターをダストカップにセットする

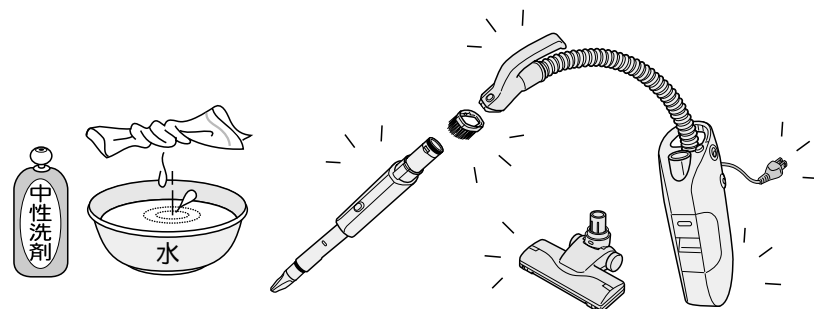
●ダストカップの底面を閉め、ダストフィルターをセットする。

●ダストカップの底面がしっかり閉まっていることを確認してください。

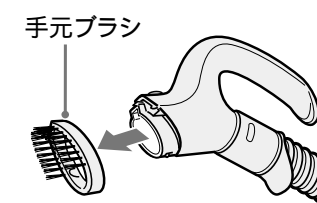
5 本体にダストカップをセットする

●手で本体を支えながら、ダストカップを「カチッ」と音がするまで押してください。

お願い

●吸込力を持続させるために、月に2度を目安にお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。
●わりばしなどの突起物でゴミを取らないでください。破損の原因になります。
●お手入れ後は十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になりますと吸込力の低下やにおいの発生、故障の原因になります。（乾燥時間は日陰の風通しの良い場所で約１日（24時間）が目安です。）
●毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

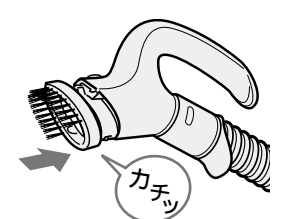
本体・付属品

●本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませ、十分にしぼった布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。

手元ブラシ

1 手元ブラシを手前に引き抜く

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

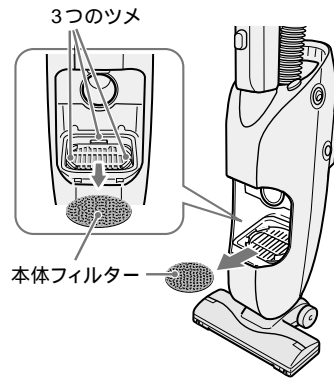
3 手元ブラシを「カチッ」と音がするまで差し込む

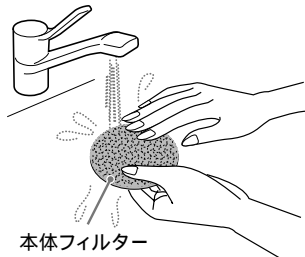
お掃除の後に

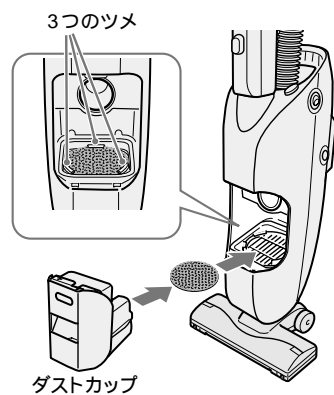
（つづく）

本体フィルター

ダストカップ・ダストフィルターのお手入れをしても吸込力が弱いときは、本体フィルターをお手入れしてください。

1 本体から本体フィルターをはずす

①ダストカップ着脱ボタンを押し、ダストカップを取り出す。
②本体フィルターの端を引き出し、ツメからはずす。

2 水で押し洗い後、陰干しで十分に乾燥させる

●乾燥が不十分でご使用になりますと、においの発生の原因になります。

3 本体フィルターを本体に取り付ける

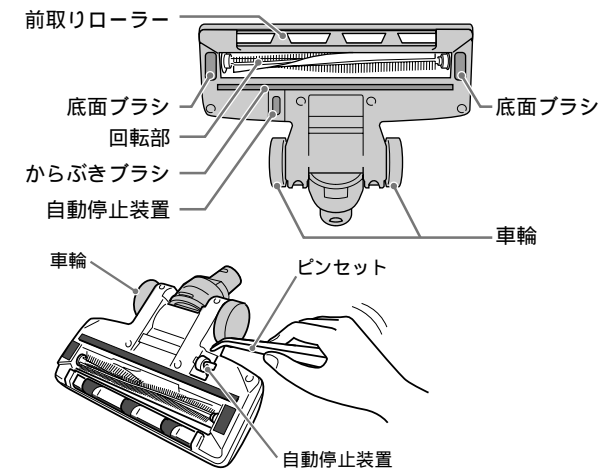
①本体フィルターを3つのツメにはめる。
②ダストカップを取り付ける。

お願い

●本体フィルターを取り付けずに運転されますと故障の原因になりますので、必ず取り付けて運転してください。
●本体フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
●お手入れ後は十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になりますとにおいの発生や故障の原因になります。（乾燥時間は日陰の風通しの良い場所で約１日（24時間）が目安です。）
●性能・品質を保証できませんので洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

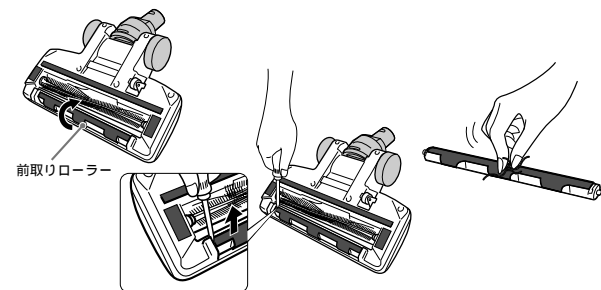
床ブラシ（パワーヘッド〈前取り機能付き〉）

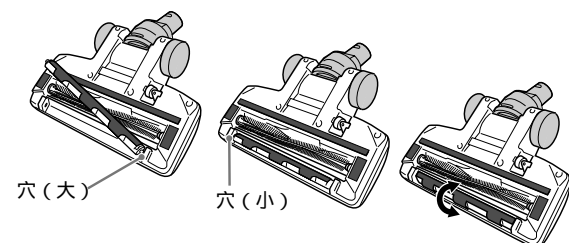
お手入れは本体をねかせてから、床ブラシを取りはずしておこなってください。

1 ゴミを取りのぞく

●底面ブラシ、からぶきブラシについたゴミを取りのぞく。
●自動停止装置や車輪にからみついたゴミをピンセットで取りのぞく。

前取りローラーにゴミがからみついた場合

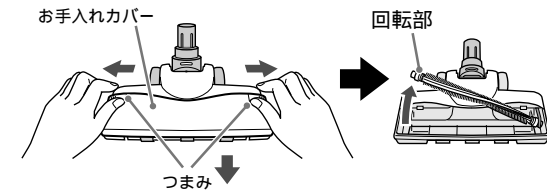
1 前取りローラーをはずし、ゴミを取りのぞく

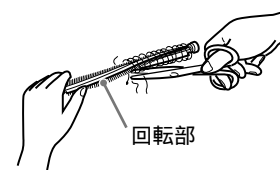
①前取りローラーをたてる。
②床ブラシと前取りローラーのすき間にコインもしくはマイナスドライバーを差し込みこじ上げてはずす。
③ゴミを取りのぞく。

2 前取りローラーを取り付ける

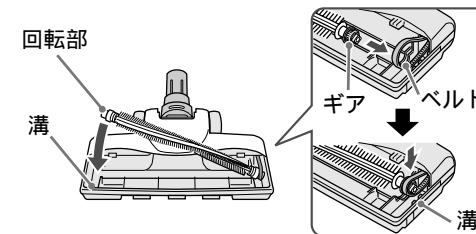
①床ブラシの穴（大）へ前取りローラーの軸（大）をはめ込む。
②床ブラシの穴（小）へ前取りローラーの軸（小）をはめ込む。
③前取りローラーがスムーズに動くことを確認する。

お手入れカバー・回転部・前取りローラーは、はずして水洗いできます。
水洗い後は、十分に乾燥させてご使用ください。

回転部にゴミがからみついた場合

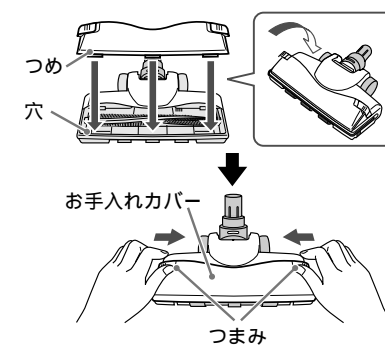
1 お手入れカバーをはずし、回転部を取り出す

①つまみを矢印の方向に動かす。
②お手入れカバーを手前に動かす。
③回転部をベルトがついていない方からはずし取り出す。

2 ゴミを取りのぞく

●回転部にからみついた糸くずや毛を、はさみなどで取りのぞく。

3 回転部を取り付ける

①ギアをベルトにかける。
②溝に回転部をはめる。

お願い 回転部の軸受部に注油しないでください。

4 お手入れカバーを取り付ける

①つめを穴に入れる。
②つまみを矢印の方向に動かす。

お願い お手入れカバーは、浮きがないようにつまみで確実にロックしてください。

お願い

●車輪やからぶきブラシが磨耗していると、床、畳を傷つけることがあります。お手入れの際に点検し、磨耗しているときは、販売店にご相談ください。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

●ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
●床ブラシやホース・伸縮延長管などにゴミがつまったまま運転し続けたとき
●夏期など室温が35℃を越えるとき
●吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき

直しかた

1. スイッチを「切」の位置にし、電源プラグをコンセントから抜く。

2. ゴミを捨て床ブラシやホース、ダストカップ取付部につまったゴミを取りのぞく。
●本体をねかせ、床ブラシやホース、伸縮延長管につまったゴミをわりばしなどで取りのぞいてください。

3. 涼しい場所に置く。

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

保護装置について（つづき）

床ブラシの保護装置がはたらくとき		
このようなとき	直しかた	
●大きなゴミや、薄い敷物などを巻き込んだり、床に強く押し付けたりすると、床ブラシの保護装置がはたらくことがあります。	1.スイッチを「切」の位置にし、電源プラグをコンセントから抜く。 2.巻き込んだ異物を取りのぞく	約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

このようなときは

⚠警告

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

●ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	→しっかり差し込んでください。	4〜6
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホースや床ブラシ、伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	13
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。	→ゴミを捨ててください。	9
	●ダストフィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	10〜11
	●ホースや床ブラシ、伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→ホースや床ブラシ・伸縮延長管をはずしてゴミを取りのぞいてください。	13
	●本体フィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	12
	●床ブラシ使用中、ホースが伸縮延長管に取り付けられていますか。	→しっかり取り付けてください。	5
床ブラシの回転部が回転しない	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。	→お手入れカバーを取り付け直してください。	12〜13
	●大きなゴミや、薄い敷物などを巻き込んでいませんか。	→床ブラシの保護装置がはたらいています。	14
	●自動停止装置にゴミがついていませんか。	→取りのぞいてください。	12
	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。	→取りのぞいてください。	13
電源コードが巻き取れない 引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。	→1〜2m引き出してふたたび巻き取ってください。	4〜5・8
	●電源コードがからんでいませんか。	→コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2〜3回くり返してください。	4〜5・8

それでも異常のある場合は、15〜16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
●ご使用中、本体および電源コード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
光触媒フィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布　※排気口
手元ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容量	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	500W	255 mm	250 mm	980 mm	3.3kg（床ブラシ、伸縮延長管を含む）	200W	61dB	0.3L	5m
			（使用時）						
		255 mm	250 mm	870 mm					
			（収納時）						

この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

●クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●クリーナーに使用している部品は、性能向上やサービス供給のため、一部予告なしに仕様や外観色が変更することがあります。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）　―

愛情点検	長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！			
	このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

（つづく）